

行政の窓

木材・木材製品の貿易動向について

【 我が国の木材貿易 】 林野庁「2009年木材輸入実績」によると、我が国の木材輸入額は、紙・板紙類、パルプを除き、8,119億円（前年比70%）となりました。

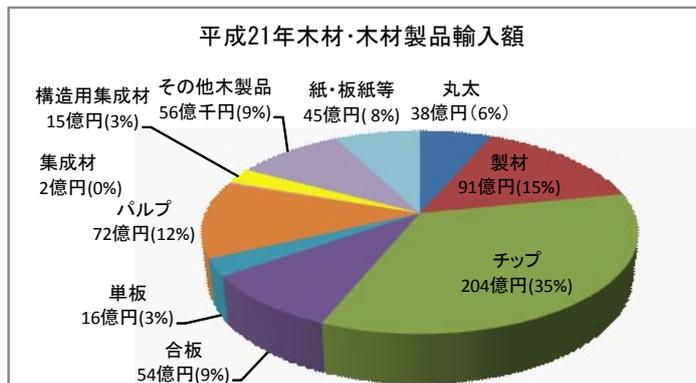
国別輸入額は、中国からの輸入が最も多く、1,257億円（前年比79%）、次いでマレーシアが958億円（前年比64%）で、主要輸入先国（輸入額上位10カ国）のうちフィリピンを除く9カ国については輸入額は大幅に減少しました。

品目別輸入量及び輸入額をみると、丸太が413万m³（前年比66%）762億円（前年比53%）、製材は557万m³（前年比85%）1,765億円（前年比72%）と丸太、製材ともに輸入が減少しています。

【 ロシア丸太輸出税引き上げの影響 】 ロシアの針葉樹丸太輸出税については、平成21年1月に引き上げが予定されていましたが、世界的な景気の悪化やロシアの国内事情等により、現在引き上げが見送られている状況にある中で、平成21年の北洋材丸太の輸入額は8億円（前年比38%）と大きく減少しています。

【 北海道の木材貿易と道産材供給率 】 平成21年の北海道の木材・木材製品輸入実績は、紙・板紙類や木材製品を含めて593億円（前年比69%）となっており、品目別にはチップが35%を占め204億円（前年比56%）、丸太38億円（前年比61%）、製材91億円（前年比72%）と、大半の品目で減少し、増加した品目は、構造用集成材15億円（前年比132%）となりました。

景気の低迷により、住宅着工数の大幅な減少、輸出産業不振による梱包材需要の減少など、木材需要が落ち込む中、輸入材が減少したため、平成21年度道産材供給率は前年度より若干上昇し、56.4%と見込まれています。

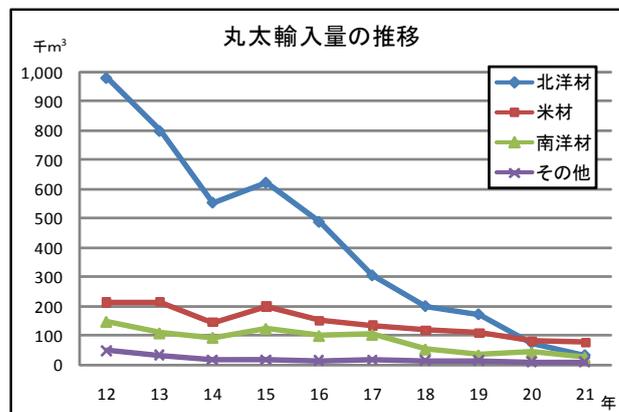


【 北海道の丸太輸入 】 丸太輸入量は減少傾向が続いており、平成21年は144千m³（前年比70%）、平成22年上半期も前年同期比73%となりました。

北洋材の輸入量は、32千m³（前年比42%）にまで減少、更に平成22年上半期は前年同期比23%まで落ち込んでいます。一方、米材の輸入量は、76千m³（前年比96%）と若干の減少に留まっています。

○ 北海道の丸太輸入量 (単位:千m³)

年	北洋材	米材	南洋材	その他	合計
12	980	212	147	49	1,388
13	799	213	108	33	1,153
14	554	144	93	18	809
15	622	198	123	18	961
16	488	150	99	15	752
17	305	133	103	17	558
18	200	118	53	16	387
19	171	107	33	16	327
20	75	79	42	10	206
21	32	76	25	11	144
(H21/H20)	42%	96%	60%	118%	70%
(21上半期)	29	52	13	11	105
(22上半期)	7	43	17	9	76
(H22/H21)	23%	81%	138%	86%	73%

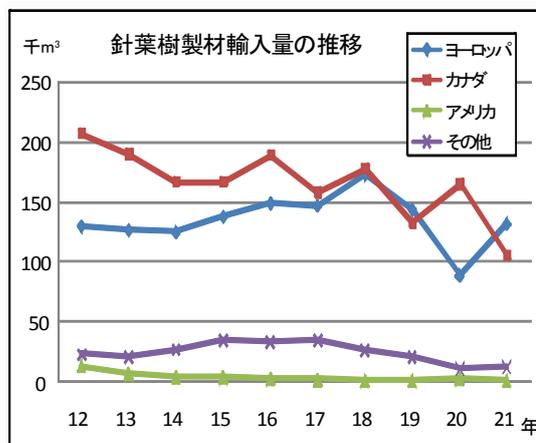


【 針葉樹製材の輸入 】 針葉樹製材の輸入量は、平成 21 年は 252 千 m³（前年比 94%）、平成 22 年上半期は 135 千 m³ 前年同期比 101%となりました。

国別にみると、カナダからの輸入が減った反面、フィンランドなどのヨーロッパからの輸入が、平成 21 年は 132 千 m³（前年比 148%）と、ヨーロッパの木材需要の低迷と円高ユーロ安による影響から、大きく増えています。

○ 針葉樹製材輸入量 (単位:千m³)

年	ヨーロッパ	カナダ	アメリカ	その他	合計
12	130	207	13	23	373
13	127	190	7	56	345
14	125	167	4	27	323
15	138	167	4	35	344
16	149	189	3	33	374
17	147	158	2	35	342
18	173	178	1	26	378
19	144	132	1	21	298
20	89	165	3	11	268
21	132	106	1	13	252
(H21/H20)	148%	64%	36%	113%	94%
21上半期	81	44	1	8	134
22上半期	56	73	1	5	135
(H22/H21)	69%	165%	125%	63%	101%

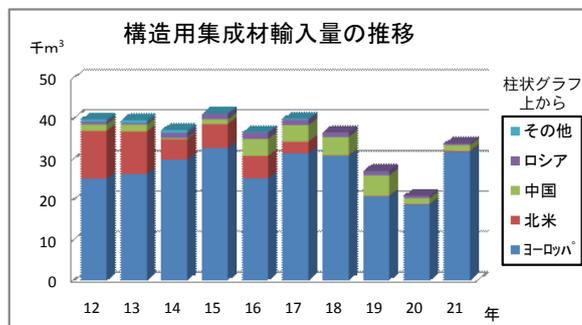


○ ヨーロッパ主要国別輸入量 (単位:千m³)

年	スウェーデン	フィンランド	オーストリア	ルーマニア	他ヨーロッパ	合計
H20	7	36	27	8	11	89
H21	12	47	36	23	14	132
(H21/H20)	169%	131%	131%	268%	136%	148%
H21上半期	8	30	22	12	9	81
H22上半期	3	16	18	15	4	56
(H22/H21)	38%	54%	82%	118%	46%	69%

【 構造用集成材の輸入 】 構造用集成材の輸入量は、平成 19 年、平成 20 年と大きく減少しましたが、平成 21 年は 34 千 m³（前年比 162%）と特にヨーロッパからの輸入を大幅に増やしました。これは、製材と同じく円高の影響等でフィンランドやルーマニアが輸出を増加したことによります。

また、平成 22 年 3 月のフィンランドの港湾ストにより入荷が遅れ、平成 22 年上半期の輸入量が減少しています。



○ 構造用集成材輸入量 (単位: m³)

年	ヨーロッパ	うちフィンランド	カナダ	アメリカ	中国	ロシア	その他	合計
12	25,102	6,543	9,572	2,278	1,573	685	534	39,744
13	26,243	7,909	8,832	1,727	1,688	447	677	39,614
14	29,847	4,868	3,402	1,634	296	1,300	663	37,142
15	32,637	15,736	4,695	1,283	1,177	1,373	26	41,191
16	25,170	14,510	4,778	816	4,206	1,559	88	36,617
17	31,392	18,549	2,761	135	4,050	1,390	214	39,942
18	30,750	24,145	68	102	4,513	1,212	0	36,645
19	20,737	15,530	0	157	5,037	1,117	0	27,048
20	18,702	13,586	0	171	1,456	574	0	20,903
21	31,716	23,557	0	296	1,400	436	0	33,848
(H21/H20)	170%	173%	—	173%	96%	76%	—	162%
21上半期	15,572	12,777	0	171	603	436	0	16,782
22上半期	14,787	8,229	0	41	567	49	0	15,444
(H22/H21)	95%	64%	—	24%	94%	11%	—	92%

(水産林務部林務局 林業木材課 木材産業グループ)